ihi黄油定量阀CVM-50ihi定量阀ihi

产品名称	ihi黄油定量阀CVM-50ihi定量阀ihi
公司名称	广州飞灿贸易有限公司
价格	1.00/个
规格参数	品牌:IHI 型号:齐全
公司地址	广州市番禺区南村镇樟边村中约坊一巷10号1楼1 01
联系电话	13924305764 18988857540

产品详情

定量弁 CVNシリーズ

定量弁CVM-03に比べ30%軽量化。サイズもコンパクトです。

CVM形に比べてサクションバック量を抑制し、少量塗布における安定性及びメンテナンス性が向上。

タイムチャートは C V Mシリーズと同一です。

C V Mの作動説明

1 待機 電磁弁がOFFの状態において、 スプリングの力でエアーピストンと共に パイロットプランジャは上端で停止した 状態となります。 メインプランジャは 、流体入口から供給されたグリースによ り上側 下側共に加圧されますが、受圧 面積の差によって押上げられ上端で停止 した状態となります。 この時、メイン プランジャ下側には次回吐出分のグリー スが計量されます。

2 パイロットプランジャ下降 電磁弁 がONし、エアー入口からエアーが供給 されると、エアーピストンと共にパイロ ットプランジャは下降します。同時にエ アーシリンダ内のエアーは呼吸口から大 気に排気されます。これにより、油路が 切換りメインプランジャ上側のみ加圧状 態となり下側は吐出口に通じるようにな ります。

3 吐出行程 吐出口はノズルを介して 大気に開放されていますので、メインプ ランジャはグリースの圧力で下降し、メ インプランジャ下側に計量されていたグ リースが吐出されます。

4 パイロットプランジャ上昇 電磁弁 がOFFになると、スプリングの力でエア - ピストンと共にパイロットプランジャ が上昇し、エアーシリンダ内のエアーは 電磁弁側から大気に排気されます。この 時、ノズル内の残圧分のグリースが吐出 口側へ引き戻されることで後垂れを抑制 します。(サクションバック機能)ま た、流体入口から供給されたグリースは メインプランジャ上側 下側共に加圧さ れた状態となりますが、受圧面積の差で メインプランジャが上昇し1の状態に戻 ります。

定量弁 ACVシリーズ

この定量弁は、すべてエアーの圧力で作動しています。使用する流体を高い圧力で加圧 供給する必要はありません。

粘度の低い流体の場合は、供給ポンプは不要となります。しかし、粘度の高い流体の場 合は、供給ポンプ(ACG-020orACG-011FK)または圧力タンクを使用してください。

この定量弁はmマニホールド方式での使用も可能となっております。ブロックプレート を使用することにより、吐出口数を簡単に増減することができます。

ALVンリー人のフインアツノ 標準タイノ:ALV‐UUl、ALV‐UU2、ALV‐UIU オイル用(L):ACV-001L、ACV-002L、ACV-010L ACVの作動説明

待機(メインプランジャ上昇と吸込み) 電磁弁(SOL-V2)がOFFになると、メイン 側のエアーシリンダ(上側)室内のエアー がA2から排気され、スプリングの力で メインプランジャの下側に吸い込まれ、 大気状態となります。

2 パイロットプランジャ下降 電磁弁 (SOL-V1)がONすると、A1からエアー がパイロット側のエアーシリンダ(上側 ■)に入り、エアーピストン(P)が下降 すると共にパイロットプランジャが下降 します。下降が完了すると、吐出口とメ インプランジャの下側の通路が開きます

3 流体吐出(メインプランジャ下降) 電磁弁(SOL-V2)がONすると、A2から エアーがメイン側のエアーシリンダ(上 側)に入り、エアーピストン(M)が下 降すると共にメインプランジャが下降し

4 パイロットプランジャ上昇 電磁弁 (SOL-V2)がOFFになると、エアーシ リンダ内のエアーがA1から排出されス プリングの力でがパイロット側のエアー ピストンとプランジャが上昇します。こ ます。この時、メインプランジャの下側 の時、ノズル側に溜まっていた液体が上 に蓄積されていた液体が吐出口を通って▋┢に引き戻され、液ダレを防止します。 ノズル側に吐出されます。

この機能を「サクションバック」と云い ます。

システム構成図

定量弁 CVMシリーズ

定量弁CVMは、パイロットブロックとメインブロックは分離型です。パイロットブロ ックをそのままにして、メインブロックの交換だけで、吐出量を変えることができます

定量弁CVMの、販売は1口単位になります。またタイボルトにより4ブロックまで一 体形として組み合わせることができます。

定量弁CVMは、大 中 小の定量弁を同一組立品とすることができます。

定量弁CVMのパイロットプランジャは復働形です。そのため、エア電磁弁は5方弁を 使用してください。

C V Mンリー人のフインナッノ

CVM-03、CVM-10、CVM-50、CVM-100、CVM-200など。 主な仕様 外形図など詳細につきましては、カタログ ダウンロードをご利用下さい。 CVMの作動説明

1 待機 電磁弁が0FFの状態で、エアー シリンダの下側(B)からエアーが入り、 上側(A)は大気に開放されています。メ インプランジャは、受圧面積の差によっ て最上点で停止しています。 この時、 グリースは入 から入ってメインプラン ジャの下側に流入し、充満します。

2 パイロットプランジャ下降 電磁弁 が0Nすると、エアーシリンダの上側(A) からエアーが入り、パイロツトプランジ ャは下降します。 これにより、入 か ら入って来たグリースは上側の通路を通 って、メインプランジャの上側に流入し ます。一方、メインプランジャの下側通 路は吐出 に通じるようになります。

3 吐出行程 吐出口は、大気に開放さ れていますので、メインプランジャはグ リースの圧力で降下し、下側に充満して いたグリースが叶出されます。

4 パイロットプランジャ上昇 電磁弁 がOFFになると、エアーシリンダの下側(B)からエアーが入り(A側は大気に開放) ますので、エアーピストンと共にパイロ ットプランジャが上昇します。 これに より、入 から流入したグリースはメイ ンプランジャの下側に入り、受圧面積の 差でメインプランジャが上昇します。 の時、吐出 に溜まっていた流体が上

方向に引き戻され、タレを防止する。(サクションバック機能)

システム構成図